

YAMAHA

NATURAL SOUND SPEAKER SYSTEM

NS-10MT

取扱説明書

このたびは、ヤマハ スピーカーシステムNS-10MTをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NS-10MTの優れた性能を十分に発揮させると共に、末永くご愛用いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

本取扱説明書には、安全にお使い頂くために、関連機器（アンプ）を含めた取扱上のご注意等も一部記載されております。



保証書は手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などの記入がありませんと、保証期間中でも万サービスが必要がある場合、実費をいただくことがありますので、充分にご注意ください。



安全上のご注意	2
アンプとの接続	3
サラネット	3
参考仕様	3
ヤマハ ホットラインサービスネットワーク	4

ご使用前に必ずお読みください。

安全上のご注意

(安全に正しくお使いいただくために)

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示例



記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



記号は禁止の行為であることを告げるものです。

分解禁止

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	本機の重量は、7.0kgあります。指定されたスピーカーブラケット以外のものを使って、天井や壁に取り付けしないでください。本機が落下すると、大ケガをして大変危険です。天井や壁への取り付けは、安全性確保の為、専門施工業者へ依頼してください。スピーカーコードを足や手に引っかけて本機を落下させることのないように、コードは必ず壁等に固定してください。取り付け後は、必ず安全性を確認してください。またその後、定期的に落下の可能性がないか安全点検を実施してください。取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。

設置について

スピーカー背面にスピーカーブラケット(取付金具)を取り付ける為のネジ穴(2箇所)があります。付属のスピーカーブラケット(取付金具)を取り付けることにより、壁にかけて使用することもできます。

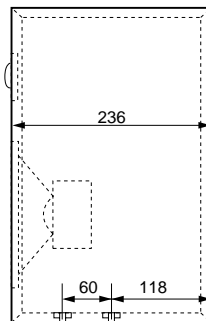
ご注意

NS-10MTは7.0kgの重量がありますので、薄いベニヤ板の壁や柔らかい壁などには取り付けしないでください。木ネジが抜けてスピーカー本体の落下による怪我やスピーカー破損の原因になります。

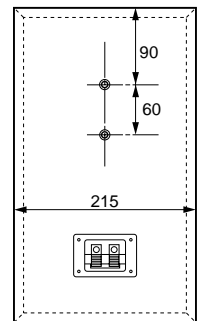
釘などの抜けやすいものは使用しないでください。長時間の使用や振動で抜けることがあります。

付属のスピーカー(防振用)は、壁等に掛けて使用する場合、スピーカー背面(下側)に貼ってご使用ください。

	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。
	風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	本機のキャビネットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。湿気やほこりの多い場所に置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。
	移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、接続コードを外してから行ってください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、アンプの電源を切り、説明に従って接続してください。
	長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



スピーカー側面



スピーカー背面

単位: mm

アンプとの接続

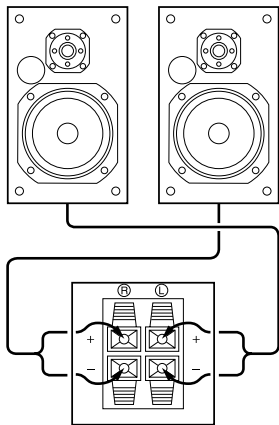
接続するときは、必ずアンプの電源を切ってから行ってください。

スピーカー背面のネジ式入力端子とアンプのスピーカー出力端子を付属のスピーカーコード（片側、白ライン極性表示付き）で接続します。

接続のしかた

- 1 スピーカーの左右（AB）を確認し、アンプのスピーカー出力端子と本機背面のネジ式入力端子をスピーカーコードで接続します。本機の赤端子はプラス（+）、黒端子はマイナス（-）です。
- 2 左スピーカーはアンプのL（左）端子に、右スピーカーはアンプのR（右）端子に接続します。それぞれ極性（+、-）を間違えると不自然な音になりますので、ご注意ください。ご使用になるアンプによって端子名が異なることがあります。アンプの取扱説明書も併せてご覧ください。

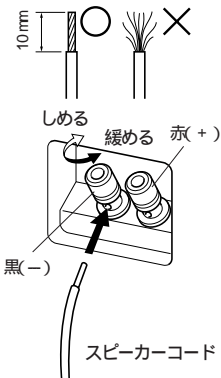
左スピーカー(A) 右スピーカー(B)



アンプのスピーカー端子

スピーカーコードの接続

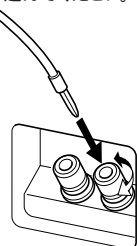
- 1 スピーカーコード先端の絶縁部を10mm位はがし、芯線がバラけないように手でしっかりとよりを掛ける。
- 2 スピーカー端子のつまみを左（反時計回り方向）に回して緩め、図のように端子穴にスピーカーコードの芯線部分を差し込み込む。つまみを右（時計回り方向）に回して締めつける。
- 3 確実にスピーカーコードが固定されたか、コードを軽く引っ張って抜けないことを確認する。



アンプについて

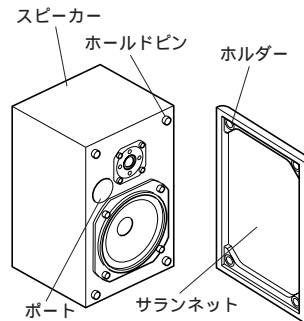
スピーカーの許容入力以上の出力を持つアンプを使用される場合は、スピーカー保護のため、最大入力以上の出力を加えないよう、ご注意ください。アンプのトーンコントロール（BASS・TREBLE等）やイコライザーを最大にして大出力でご使用になったり、特殊な信号（テープの早送り時の音、プレーヤーの針先のショック音、信号発生器の特定の周波数、サイン波などの再生音）を連続して加えることは、スピーカーの破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。

バナナプラグの場合
バナナプラグを使用する場合は、端子を強くしめてから差し込んでください。



サラネット

サラネットは、はめ込み式で取り付けられています。取り外す場合は、サラネットの4隅を手前に引くと外れます。取り付けは、サラネット裏側ホルダーと本体側ホールドピンを合わせて、押し込みます。（サラネットの布部分は押さえしないでください。）



ご注意

サラネットを外した状態で、スピーカーユニット、特にツイーターに手を触れたり、工具などで無理な力を加えないでください。音が歪む原因となります。スピーカーの振動板には手を触れたり、ショックを与えないでください。音が歪む原因となります。ポートの中に異物を入れたり、細長い棒など差し込まないでください。万一異物が入ったときは、アンプの電源スイッチを切り、スピーカーコードを外して販売店にご連絡ください。本機は、防磁型設計となっておりますが、万一テレビの近くでご使用になり色ムラなどが生じるときは、テレビとスピーカーの距離を離してご使用ください。

スピーカースタンド

NS-10MT用スタンドSPS-T10（別売）とジョイントするために、スピーカー底面には、取り付け用ナットが埋め込まれています。ご使用の際は、スピーカースタンドSPS-T10の組立説明書をご覧ください。（取付けネジは、スタンド側に付属しております。）

参考仕様

形式	2ウェイバスレフ型・防磁型
スピーカーユニット	
ウーファ	18cmコーン型
ツイーター	3cmソフトドーム型
再生周波数帯域	43Hz ~ 30kHz
インピーダンス	6
許容入力	60W
ミュージック許容入力	180W
クロスオーバー周波数	2kHz (- 12dB/oct)
出力音圧レベル	90dB/W・m
外形寸法 (W×H×D)	215×382×255mm (サラネット含)
重量	7kg/1台
付属品	スピーカーコード10m

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。上記の最大入力値以上の信号を加えないよう充分ご注意ください。



音楽を楽しむエチケット
これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますのでエージングの差による音色の違いが出る場合があります。

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保証期間

保証用性能部品の最低保証期間は、製造切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品（下記参照）が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

AV製品を末永く安定してご愛用いただくために、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

磨耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ、リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラ、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

お客様ご相談センター

(ヤマハAV製品に対するお問い合わせ窓口)

TEL(03)5488-5500

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

北海道	〒064-0810	札幌市中央区南十条西1-1-50ヤマハセンター内 TEL(011)512-6108
仙台	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
首都圏	〒211-0025	川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
東京	(お持ち込み修理のみ取扱い) 〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11 TEL(03)5488-6625
浜松	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL(053)465-6711
名古屋	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里センター丘内 TEL(06)877-5262
広島	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL(082)874-3787
四国	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内 TEL(0878)22-3045
九州	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

愛情点検



永年ご使用の機器の点検を!

こんな症状はありませんか?

電源コード・プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
電源コードに深いキズが変形がある。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電源を入れても正常に作動しない。
その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 TEL(053)460-3451
品質保証室 TEL(053)460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。